

JCAABE リレートーク

【JCAABE リレートークのお知らせ】

JCAABE 会員の活動内容紹介のリレートークを企画しました。トークしていただいた会員から、次のトーク者をご紹介頂くという形で、順にリレーしていきます。1時間の中で、40分のトーク、20分の質疑応答タイムとして会員の皆さんと活発なディスカッションができればと思います。

■紹介文:近代建築は歴史的建築とは異なり、一般におけるその価値の理解度が弱いこともあり、十分な議論や検討が無い中で解体の危機が生じています。講師の鯨坂氏は、実務と学識経験をお持ちの建築家で、その意味について深堀できる良い機会になると思われます。ドコモの活動も含めてお話しいただけるとのこと、皆様、是非ご参加ください。(紹介者:鳥居久保)

第6回 2024年8月20日(火) 19:00~20:00

ZOOM

<https://us02web.zoom.us/j/89218422707?pwd=jgNCpAVQqOcd06ycbu6ai0gFU0fvsvu.1>

ミーティング ID: 892 1842 2707

パスコード: 124778



近現代建築を活用するまちづくりに向けて

プレゼンター: 鯨坂 徹 DOCOMOMO Japan 代表 / 鯨坂建築研究所代表

1957 名古屋生まれ

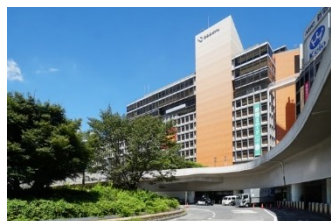
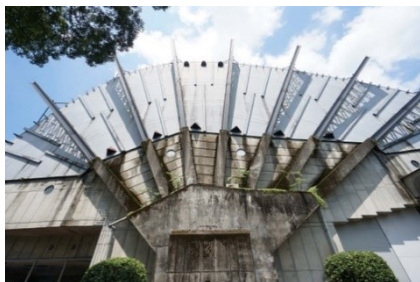
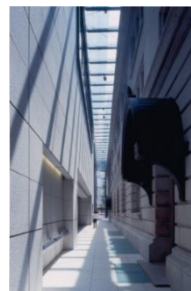
1983 早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修了後、三菱地所一級建築士事務所

2013 三菱地所設計を退社し鹿児島大学工学部建築学科教授に着任

2023 定年退官し鯨坂建築研究所設立



近現代建築はまだその価値が社会に認められにくい状況が続いており、DOCOMOMO Japan 選定建築もいくつか失われつつある。その状況の中で、近現代建築を継承していく課題と取組、問題点について解説し、使われなくなった歴史的建造物を活用した都市計画制度を報告、今後の近現代建築を活用するまちづくりに向けて、その事例と未来について意見交換を行えればと考えます、宜しくお願い致します。



1. 保存再生をとりまく現状 解体される名建築と DOCOMOMO Japan の活動
地球環境から見た保存再生: 長寿命化改修と廃棄物・二酸化炭素排出量について
鉄筋コンクリート造建築の物理的寿命
2. 保存再生と法制度 忘れられた都市計画制度 重要文化財特別型特定街区
3. 歴史的建築の保存再生デザインと歴史的建築を活用するまちづくりに向けて